

第2回介護施設等の在り方に関する委員会

平成18年12月15日（金）

資料1

我が国における高齢者の住まい等 の状況について

目次

<高齢化関係資料>

1. 人口の推移 …………… 1
2. 都道府県別高齢化率の推移 …………… 2
3. 都道府県別高齢者数の増加状況 …………… 3
4. 高齢者が属している世帯の推移 …………… 4
5. 単身高齢者の推移 …………… 5

<住まい関係資料>

6. 65歳以上人口に占める認定者数、各国の介護施設・
ケア付き高齢者住宅の割合 …………… 7
7. 高齢者世帯の住宅の所有関係 …………… 8
8. 高齢者世帯の住宅の一人当たり延べ面積 …………… 9
9. 高齢者世帯の住宅の建て方 …………… 10
10. 高齢者のいる世帯の居住する住宅の建築時期 …………… 11
11. 高齢者の居留意向 …………… 12
12. 介護の場所の希望 …………… 13
13. 高齢者の同居の状況 …………… 14
14. 最期の療養の場所の希望 …………… 15
15. 自宅で最期まで療養したい理由 …………… 16
16. 自宅以外で終末期を療養したい理由 …………… 17
17. リバースモーゲージについて …………… 18
18. 住宅政策における主な高齢者対策(国土交通省) …………… 19
19. 高齢者向けの主な賃貸住宅 …………… 21
20. 住生活基本法<平成18年 6月8日公布・施行> …………… 22
21. 住生活基本計画(全国計画)高齢者施策関係部分抜粋 …………… 23

<療養病床関係資料>

22. 都道府県別にみた65歳以上人口10万当たりの療養病床
の病床数(平成18年3月末) …………… 25
23. 65歳以上人口に対する介護施設等の整備状況
(平成18年3月) …………… 26
24. 65歳以上人口に対する介護保険施設等の整備状況と
医療療養病床の整備率との関係 …………… 27
25. 療養病床の規模別の分布状況 …………… 28
26. 療養病床(介護療養型医療施設)の規模別の分布状況 …………… 29
27. 療養病床の開設者 …………… 30
28. 療養病床を有する病院の系列で提供している関連
サービスの状況 …………… 31
29. 療養病床を有する病院の規模別の併設サービスの状況 …………… 32

<介護施設等の現状関係資料>

30. 要介護度別にみた在所者数(構成割合)の年次推移 …………… 33
31. 施設の種別にみた定員、在所者数、利用率 …………… 34
32. 介護施設の定員規模別の利益率 …………… 35
33. 死亡前2週間以内に実施した医療処置の割合(複数回答) …………… 36

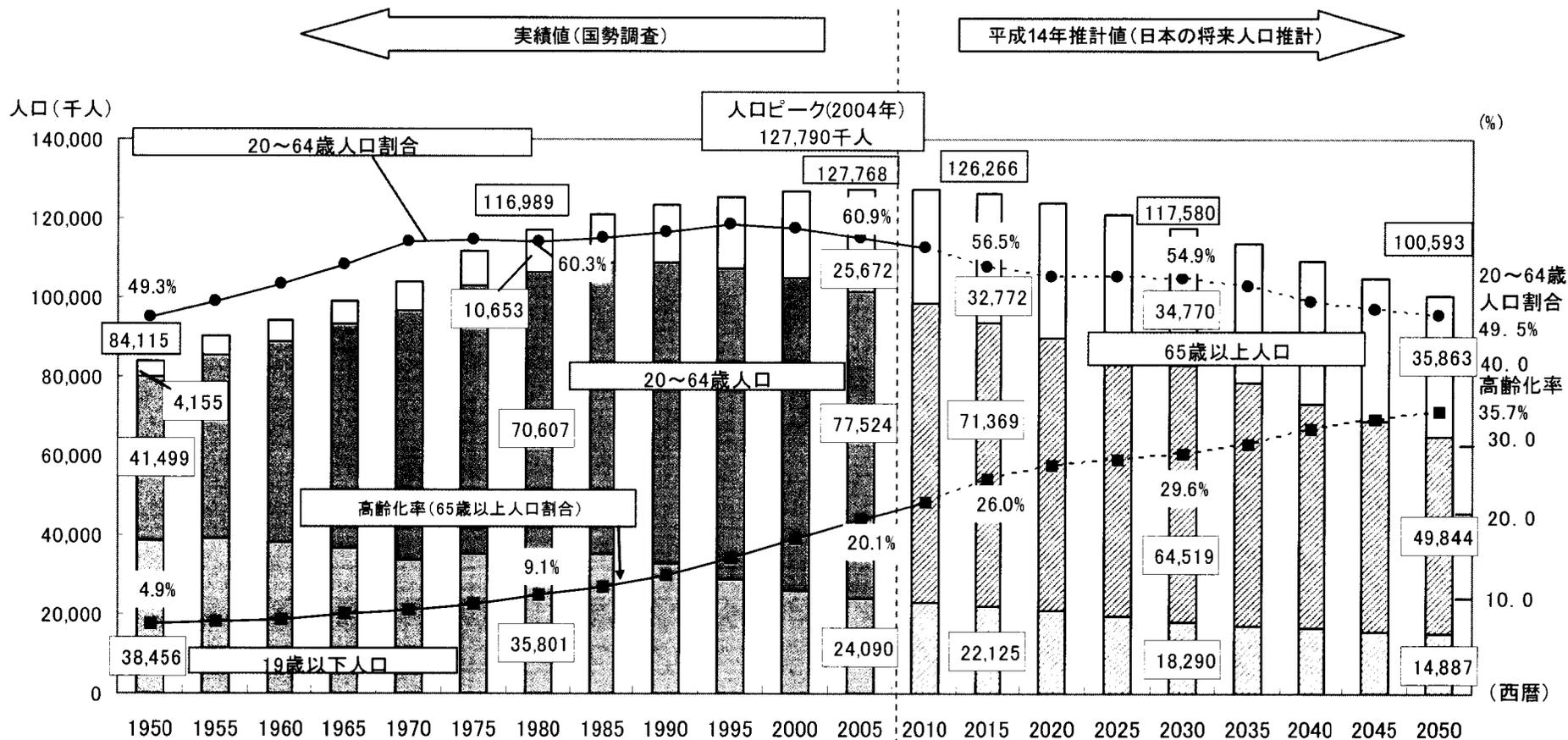
高齡化關係

1. 人口の推移

我が国の総人口は2004年にピークを迎え、今後減少する。

20～64歳人口は1999年から減少が始まっており、2030年には54.9%となる。

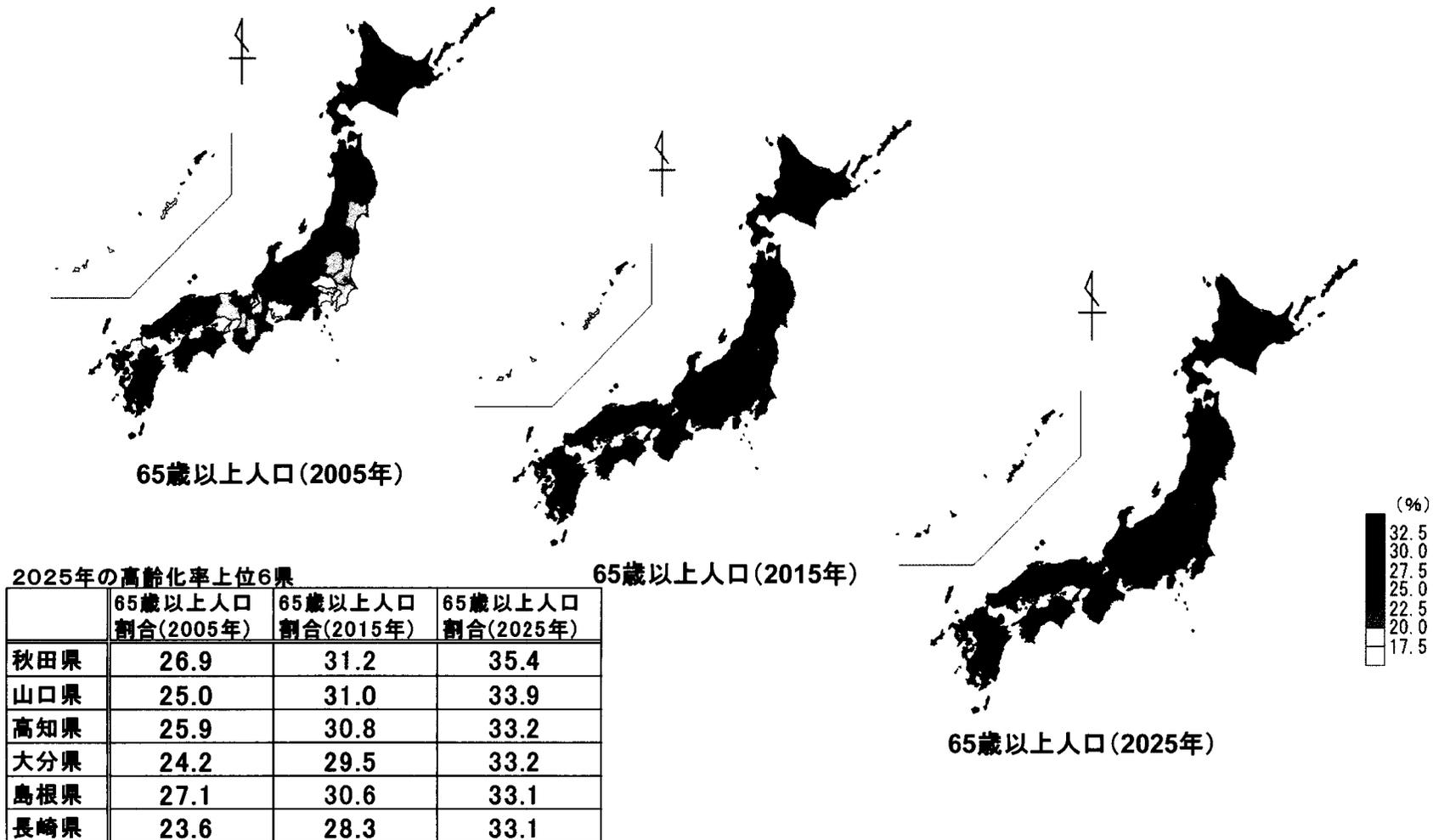
一方、高齢者人口は増加を続け、2005年に20.1%である高齢化率は、2030年には29.6%に達すると予測される。



資料: 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)中位推計」

2. 都道府県別高齢化率の推移

都道府県別では、2005年には高齢化率20%以下が14都府県見られるが、2015年には、沖縄県を除く46都道府県で高齢化率20%を超え、2025年には25%を超えるのが45都道府県、30%を超える県が28道県に達すると予測される。

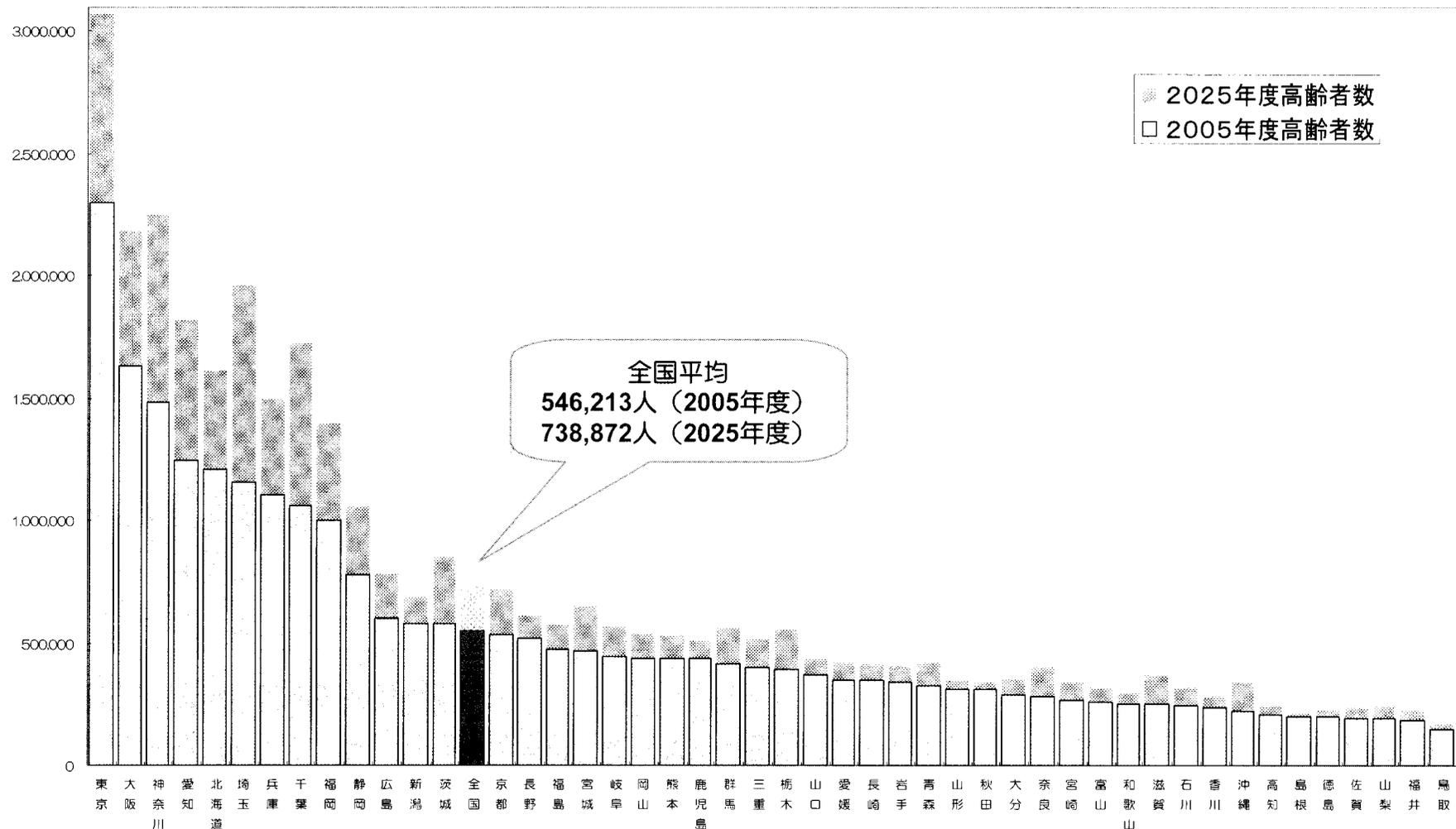


【資料】2005年は総務省統計局「国勢調査」、2015年・2025年は国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口」(平成14年3月推計)

3. 都道府県別高齢者数の増加状況

高齢者人口は、今後20年間、首都圏を始めとする都市部を中心に増加し、高齢者への介護サービス量の増加が見込まれるとともに、高齢者の「住まい」の問題等への対応が不可欠になる。

単位：人

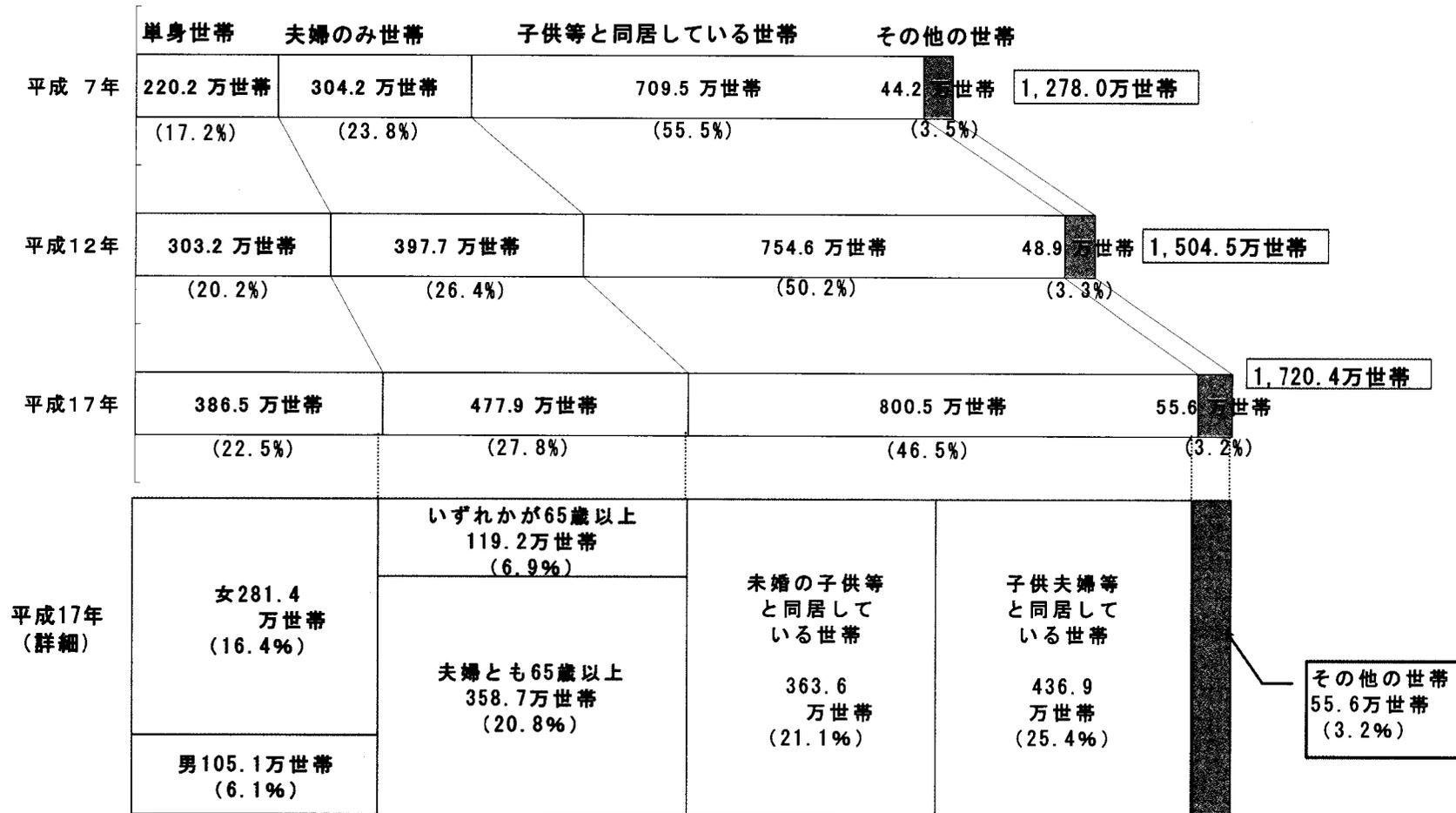


【資料】

2005年の高齢者人口については、総務省統計局「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」
2025年の高齢者人口については、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）」

4. 高齢者が属している世帯の推移

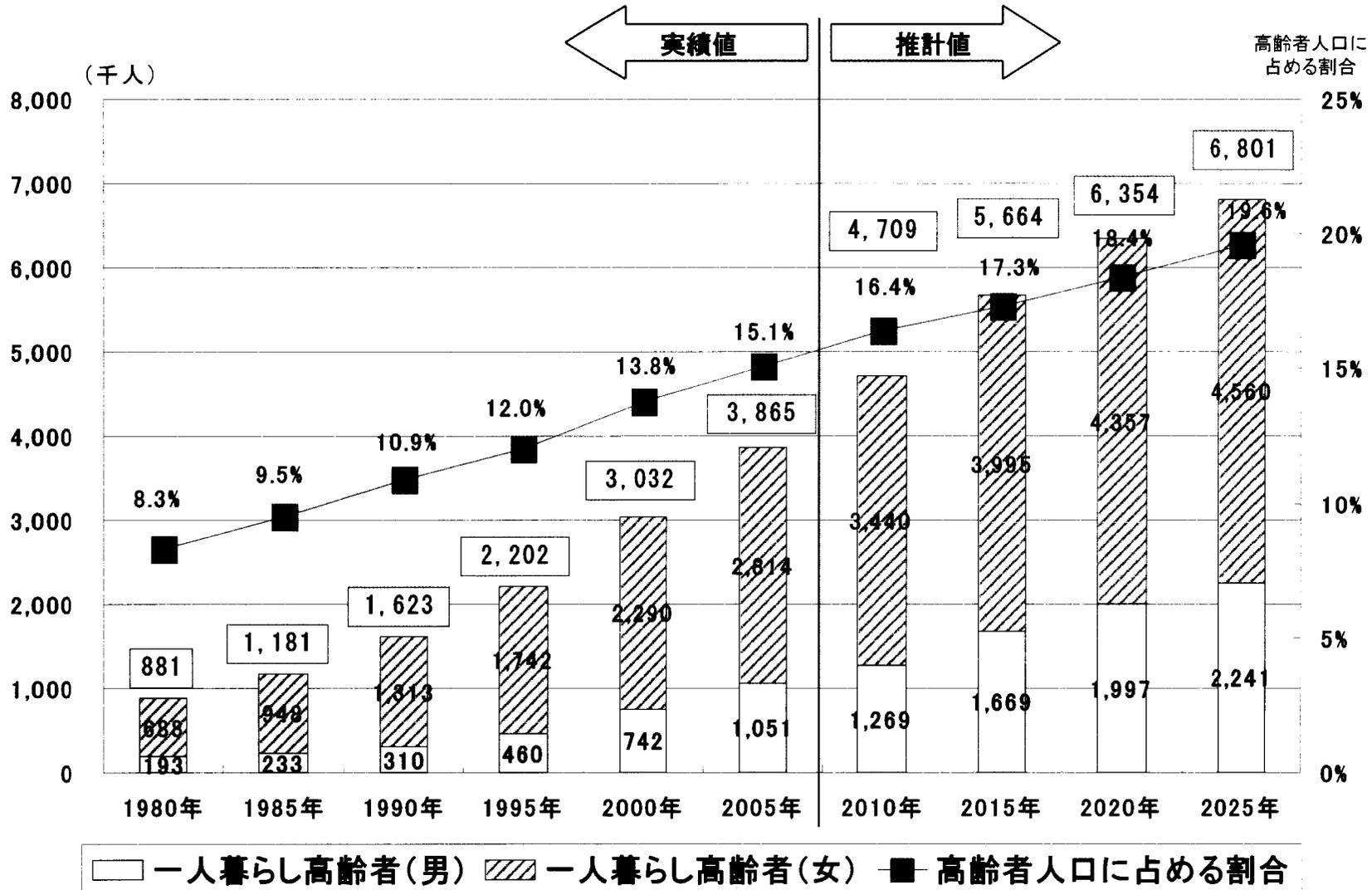
高齢化の進展に伴い、高齢者が属している世帯も増加している。特に、単身世帯及び夫婦のみ世帯の増加が著しい。



【資料】総務省統計局「国勢調査」(平成17年)

5. 単身高齢者の推移

高齢者の一人暮らし世帯の数は、2025年には2005年の1.7倍になり、高齢者人口に占める割合も19.6%に達する。



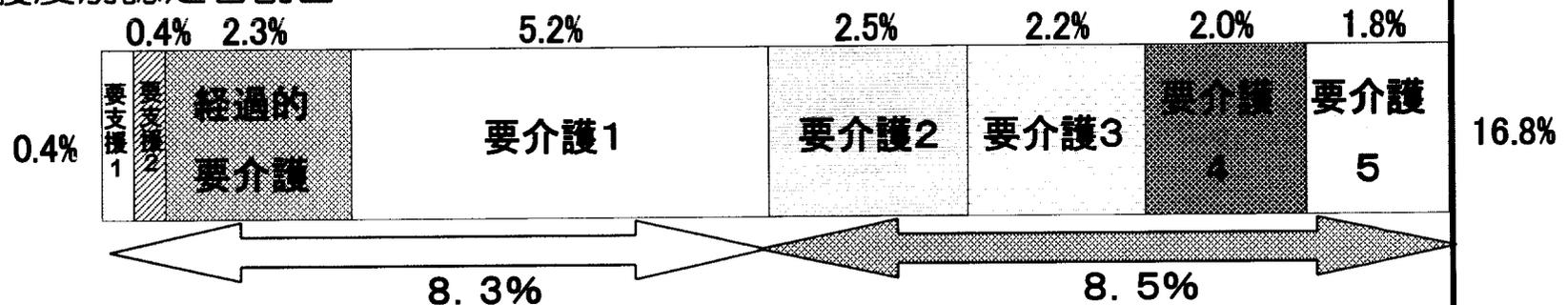
資料:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」、「日本の将来推計人口」

住まい関係

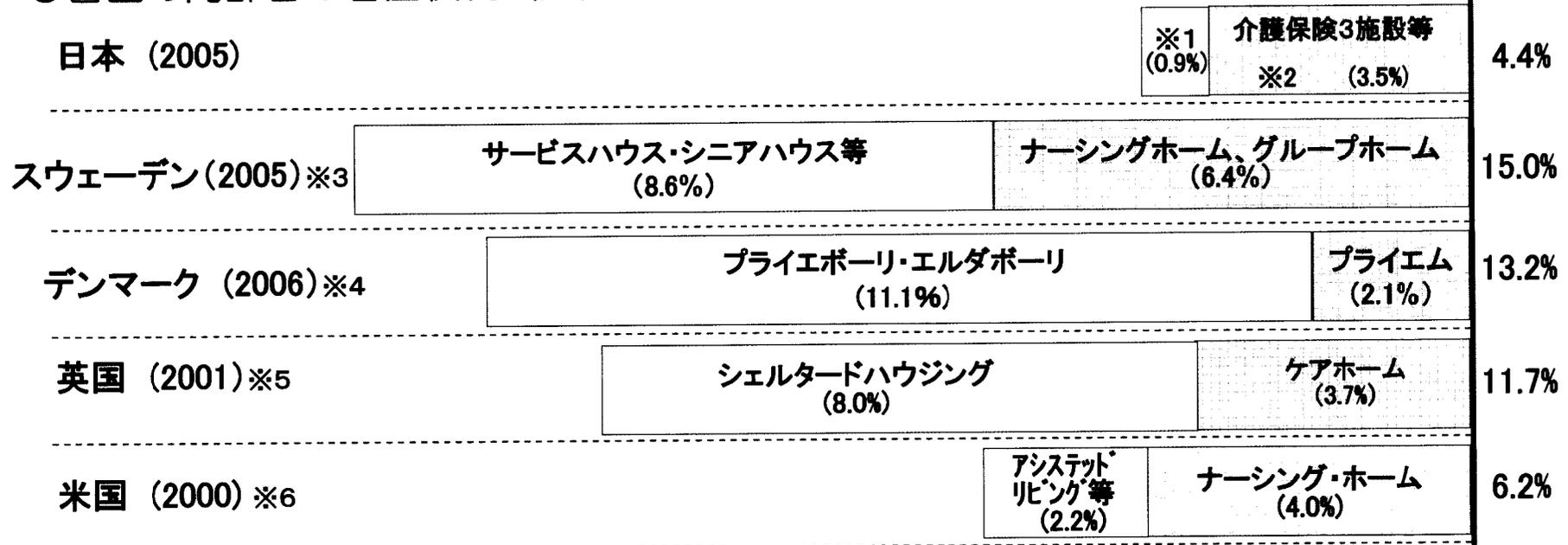
6. 65歳以上人口に占める認定者数、各国の介護施設・ケア付き高齢者住宅の割合

出典)平成18年5月 介護保険事業状況報告

○要介護度別認定者割合



○各国の高齢者の居住状況 (定員の比率) (全高齢者における介護施設・高齢者住宅等の利用者数の割合)



※1 シルバーハウジング、高齢者向け優良賃貸住宅、有料老人ホーム及び軽費老人ホーム(軽費老人ホームは2004年)。

※2 介護保険3施設及びグループホーム

※3 Sweden Socialstyrelsen(スウェーデン社会省)聞き取り調査時の配布資料(2006)

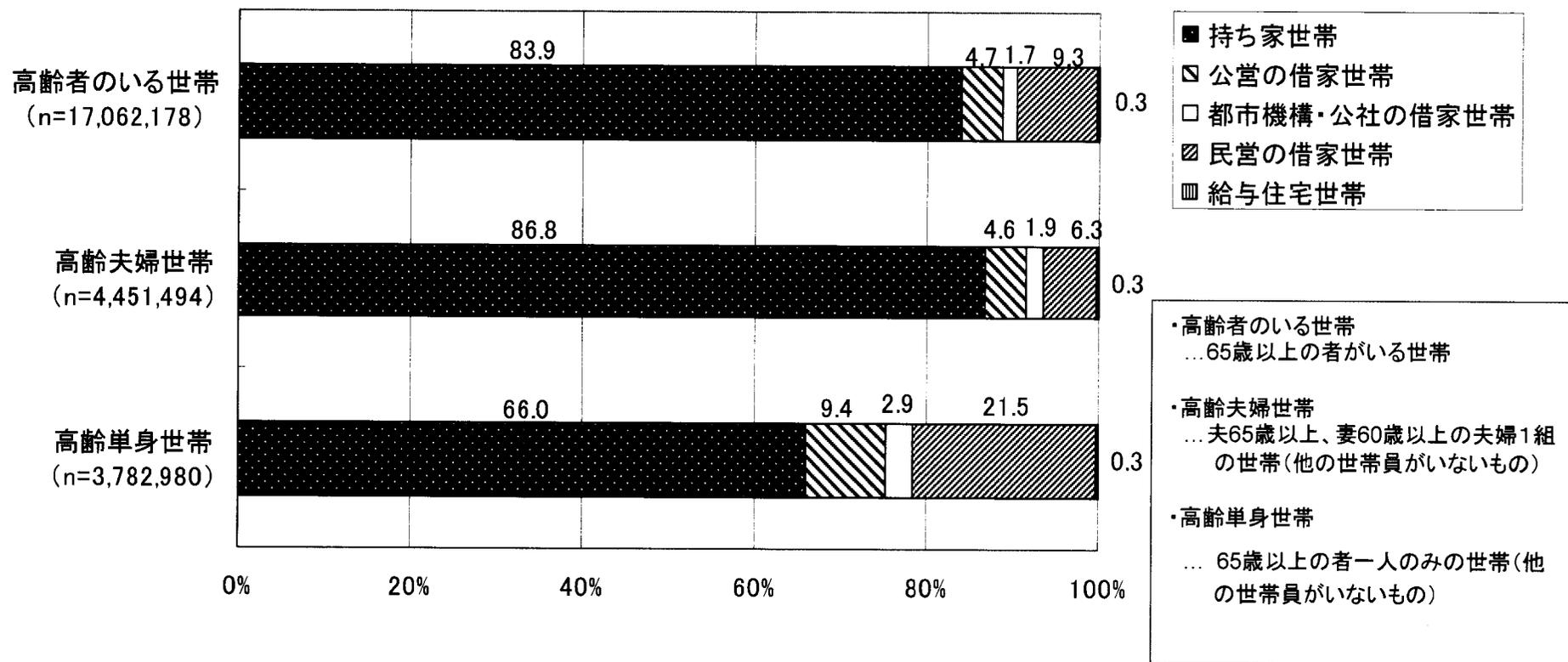
※4 Denmark Socialministeriet(デンマーク社会省)聞き取り調査時の配布資料(2006)

※5 Elderly Accommodation Counsel (2004) 「the older population」

※6 日本総合研究所「介護施設等の費用体系に関する総合調査報告書」(2004)

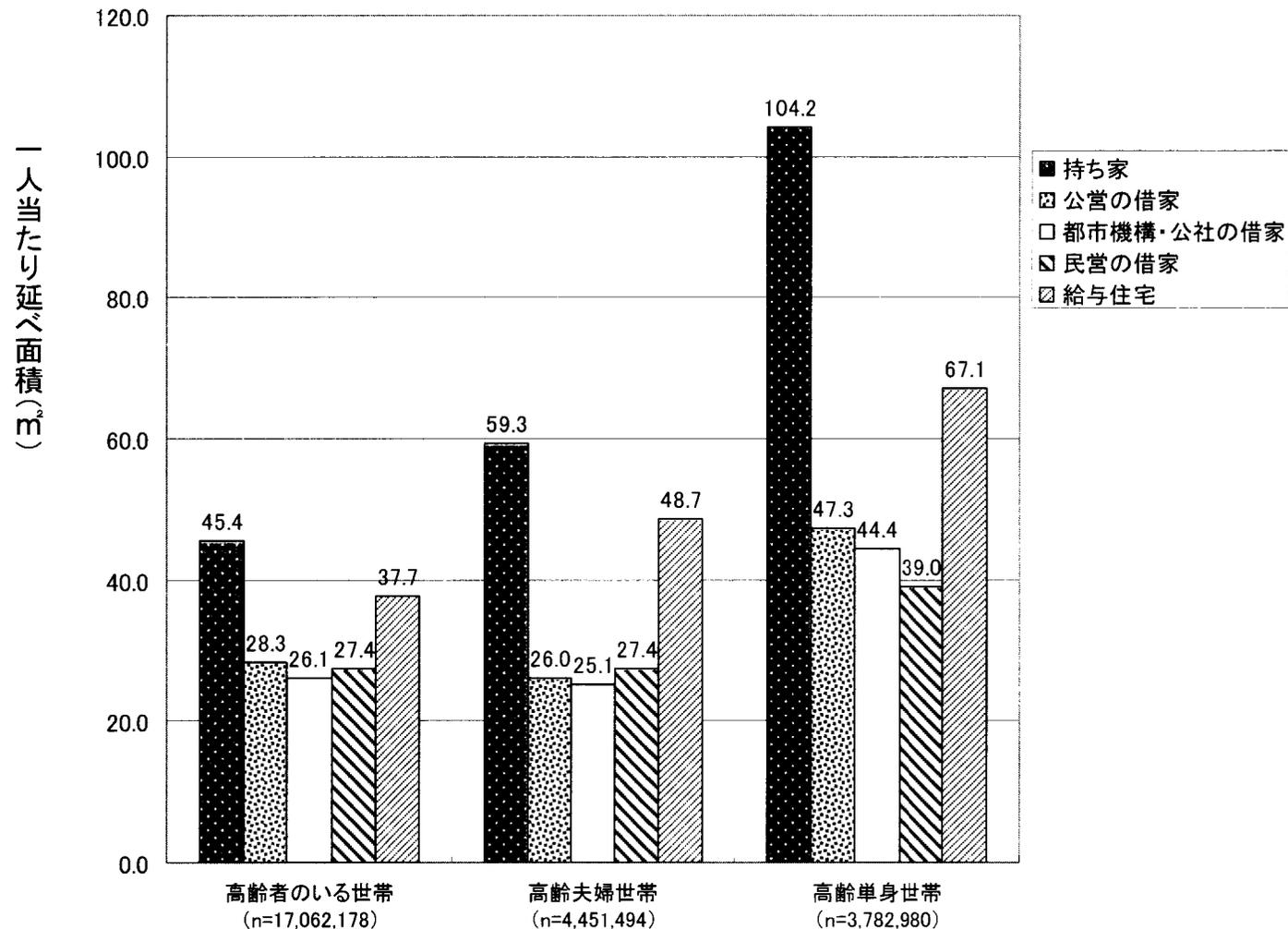
7. 高齢者世帯の住宅の所有関係

高齢者のいる世帯及び高齢夫婦世帯の持ち家率は8割を超える一方、高齢単身世帯の持ち家率は6割台に止まり、借家に居住する割合が高い。



8. 高齢者世帯の住宅の一人当たり延べ面積

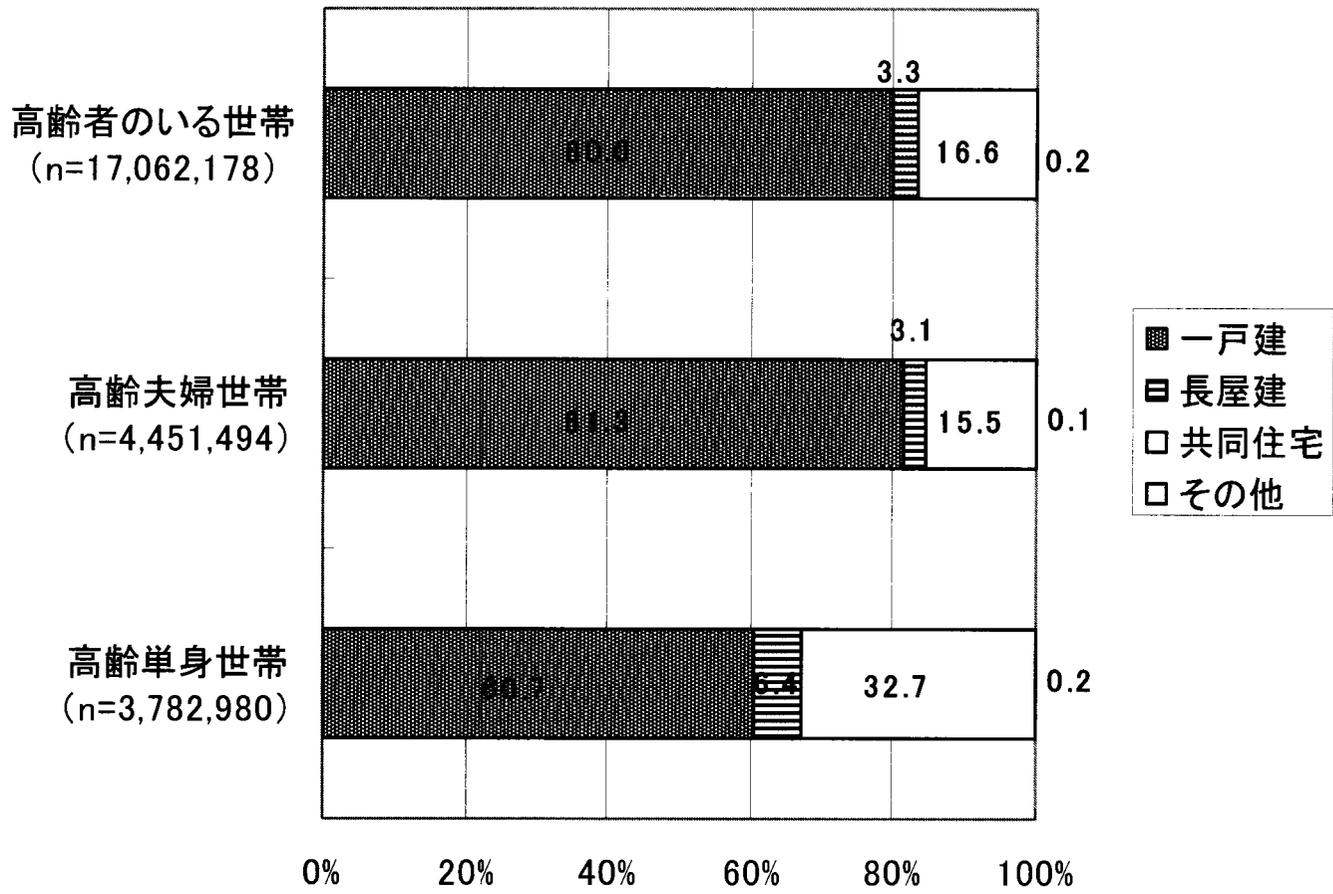
どの高齢者世帯においても、持ち家が最も一人当たり延べ面積が大きく、また、どの所有関係で見ても、高齢単身世帯の方が一人当たり延べ面積は大きい。



【資料】総務省統計局「国勢調査(平成17年)」

9. 高齢者世帯の住宅の建て方

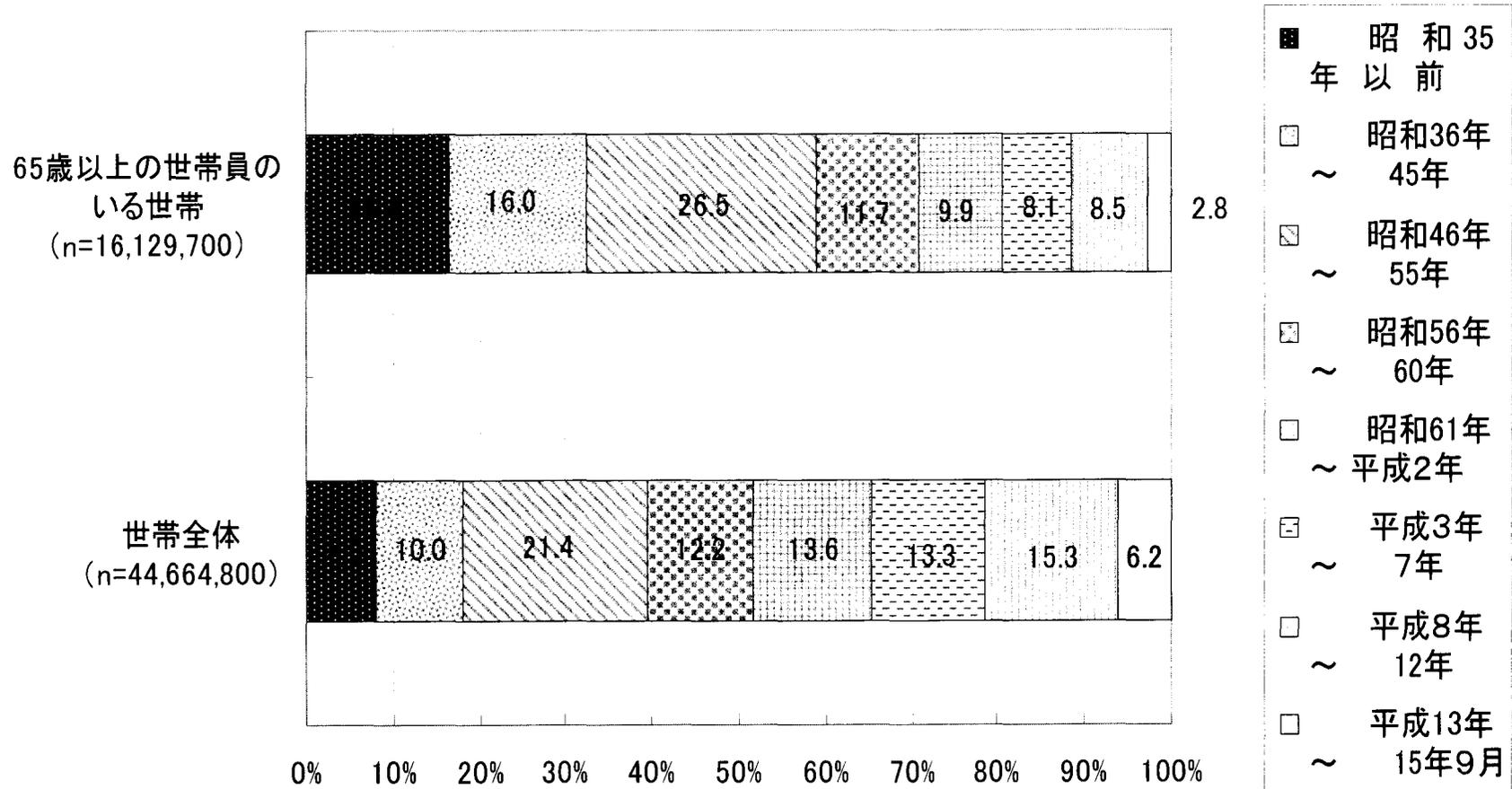
高齢者のいる世帯及び高齢夫婦世帯は、約8割が一戸建てに居住している一方、高齢単身世帯では、一戸建ては約6割で、約3割が共同住宅に居住している。



【資料】総務省統計局「国勢調査(平成17年)」

10. 高齢者のいる世帯の居住する住宅の建築時期

65歳以上の世帯員のいる世帯の約3割が、昭和45年以前に建築された住宅に居住している。

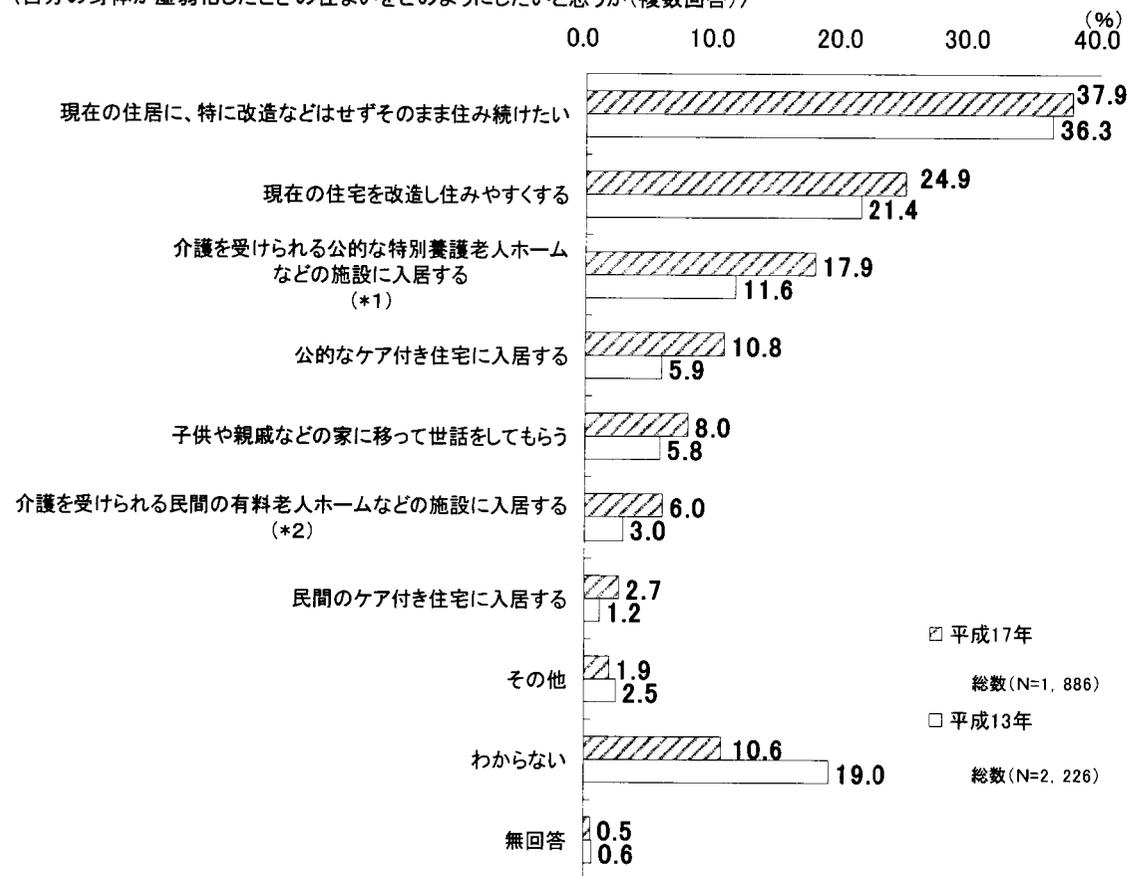


【資料】総務省「住宅・土地統計調査」(平成15年)

11. 高齢者の居住意向

自分の身体が虚弱化したときの住まいの希望について見ると、現在の住居にそのまま住み続けたいとするものが多く、現在の住宅を改造し住みやすくするものを合わせると約6割を占める。一方で、特別養護老人ホーム、ケア付き住宅、有料老人ホームなどの施設への入居を希望するものも増えている。

〈自分の身体が虚弱化したときの住まいをどのようにしたいと思うか(複数回答)〉



(*1) 平成13年は「介護専門の公的な特別養護老人ホームなどの施設に入居する」

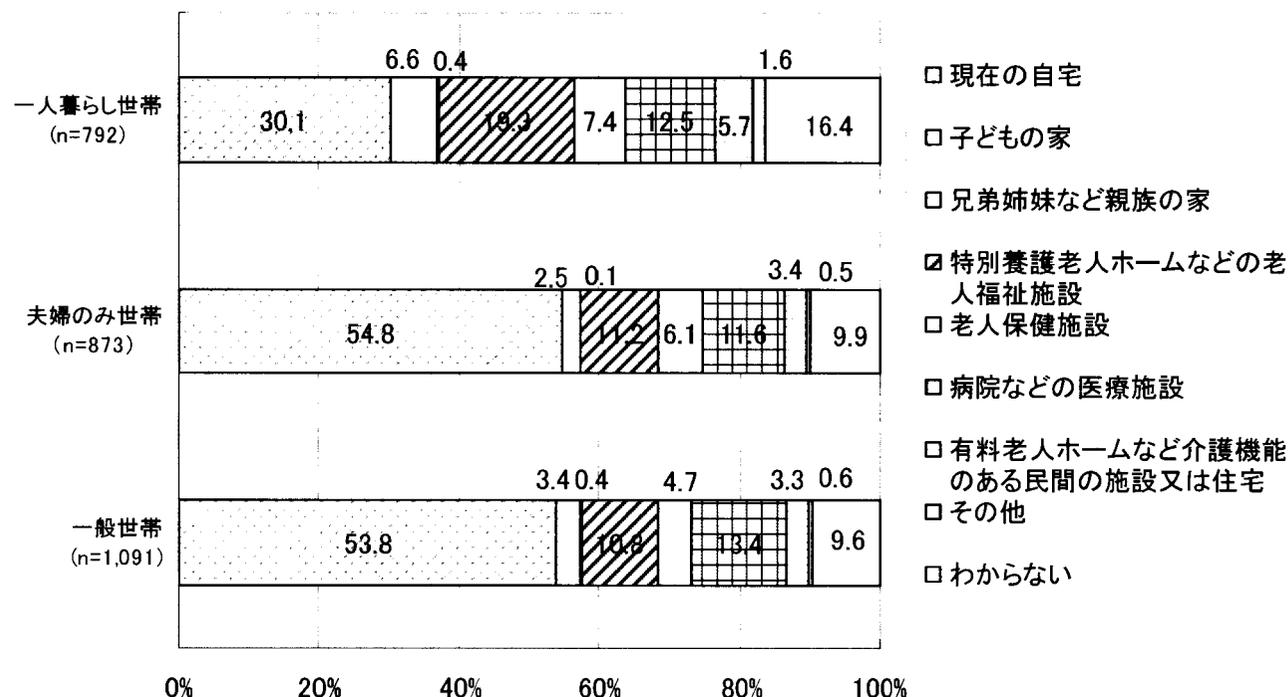
(*2) 平成13年は「介護専門の民間の有料老人ホームなどの施設に入居する」

【資料】 内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査(平成17年度)」

12. 介護の場所の希望

介護が必要となった場合に介護を受けたい場所については、高齢者夫婦のみ世帯及び一般世帯では、過半数が現在の自宅であるのに対し、高齢者の一人暮らし世帯で現在の自宅を希望する者は3割に止まり、老人福祉施設、老人保健施設及び医療施設を希望する者が約4割となっている、

〈仮に身体が虚弱になって、日常生活を送る上で介護を必要とするようになった場合、介護を受けたい場所について〉



※一人暮らし世帯...65歳以上の者1人のみの世帯

夫婦のみ世帯...夫婦とも65歳以上で夫婦のみの世帯

一般世帯...特に属性を限定しない世帯の65歳以上の男女(一人暮らし世帯及び夫婦のみ世帯を含む。)

【資料】 内閣府 「世帯類型に応じた高齢者の生活実態等に関する意識調査(平成17年度)」